

表彰申請書（メンテナンス技術賞 記入例）

1. 申請会社名：（□は「レ」を記入のこと）

会社名	: 略称ではなく、正式名を記載ください	☐ 正会員 / ☐ 賛助会員
住所	: 住所は、都道府県より記載ください	いずれかにレをお願いします。
代表者	: 代表者は、勤務先の代表者又は所属長などの経営管理職としてください。	
連絡担当者	: 所属・役職より記載ください。また、以下はご担当者のご連絡先を記載ください。	
(TEL)	(FAX)	(E-Mail)

2. 申請事案名称および対象区分（対象項目に「●」【1項目のみ】を記入のこと）

申請事案名称	: 申請事案の概要が分かる名称を端的に記載ください。		
同一企業内申請順位	: (位) 【対象区分全体の順位で記入のこと】		
対象区分	☐ メンテナンスマイスター賞 ☐ メンテナンススペシャリスト賞 ☒ メンテナンス技術賞（システム、工法、ツール等） ☐ メンテナンス奨励・普及賞	複数エントリーの場合、 貴社内での全体順位を記 載ください。	

3. 申請事案の概要（事案内容、功績・業績を簡潔に記載のこと。資料添付のこと）

★技術賞は、個人ではなく技術・製品等そのものを対象としています。①どのような現場課題を解決するものか②技術的な特徴・工夫、③適用・活用実績、④作業合理化、安全性・品質向上、省力化、安定稼働、環境負荷低減、技術高度化等への効果・成果を簡潔に記載してください。	
また、新規開発された技術に限らず、既存技術の改良・改善や複数技術の組合せ、現場への工夫・適用によって優れた成果を実現したものも対象となります。	

※1: 申請事案の内容、技術的特徴、効果・成果等が分かる資料を作成の上、エビデンスとして添付してください。
※2: 審査の必要に応じて、申請後資料の提出をお願いする場合があります。

4. 表彰候補者（□は「レ」を記入のこと）

ふりがな			
会社名 ※1	略称ではなく、正式名を記載ください		
会社住所	住所は、都道府県より記載ください		
所属部署			
ふりがな	※申請技術等において中心的な役割を担った代表者を記載し、併せて関係者（主要な貢献者・チーム）の体制・役割		
氏名 ※2	を示す資料を添付してください。 ☐ 男 / ☐ 女		
年齢（申請時）	() 歳		
現在の業務・作業内容	※メンテナンス技術賞については非該当（記載不要）		
経験年数			
職歴	主な業務・作業内容	期間	
	※申請技術等の開発・改良・実用化・適用等に至る主な経緯と、これまでの適用・展開実績を記載してください。	年～	年
		年～	年
			年
			年

※1：正会員・賛助会員企業以外の場合は、所属企業の業務内容・分野・規模・人員等の企業 紹介資料を添付のこと。
※2：チーム・団体の場合は代表者を記入し、多数の場合は別紙に追加。

5. 保有資格（国家資格、公的資格、民間資格、国際資格等）

名称	職 種	合格年月日または発行年月日	エビデンスNo.
		年 月 日	※番号を付番
		年 月 日	
		年 月 日	
		年 月 日	
		年 月 日	

※1: メンテナンス技術賞申請については記載不要
※2: 資格保有を示すエビデンスを可能な範囲で提出下さい。社内認定制度についても社内規定等、内容、レベル等が判断できる資料を提出ください

6. 表彰歴

名称	表彰組織・団体	表彰年月日			エビデンスNo.
申請事案に関わる表彰歴等は、正式名称で記載してください。		年	月	日	※番号を付番
※特許、実用新案、商標等の取得・登録実績についても記載してください。		年	月	日	
取得・登録済みの場合は番号を、申請中の場合は「申請中」と記載。	正式名称にて記載ください	年	月	日	
例:グッドデザイン賞、防災製品等推奨品認証 等		年	月	日	
		年	月	日	

※1:メンテナンス技術賞申請については、表彰対象技術の表彰歴を記載のこと
※2:可能な範囲で、表彰概要を示すエビデンスを提出下さい。社内表彰制度についても社内規定等、内容、レベル等が判断できる資料を提出ください

7. 申請会社記入欄（推薦理由：申請元評価表【様式－2】を主体に記載のこと）

申請元評価表【様式－2】に記載された内容より、メンテナンス技術賞として推薦する理由のポイントを明確に記載ください。
特に、技術的に秀でた部分をわかりやすく記載願います。

※提出していただいた資料は審査以外の目的のためには使用しません。
※申請事案1件毎に申請書を作成する。

「事務局記入欄」
1. 事務局受付日 : 年 月 日 (受付番号:)
2. 審査年月日 : 年 月 日

改訂)2026年9月4日

申請元評価表

1. 申請事案名称	(様式1)の申請事案名称と同じ内容を記載してください。
2. 申請会社名 (略称ではなく正式名)	(様式1)の申請会社名と同じ内容を記載してください。
3. 表彰候補者名	※メンテナンス技術賞については非該当 (記載不要)
4. 対象区分	☐ メンテナンスマイスター賞
	☐ メンテナンススペシャリスト賞
	☒ メンテナンス技術賞 (システム、工法、ツール等)
	☐ メンテナンス奨励・普及賞

「評価の内容」

評価項目		評価*5	評価の内容 (根拠) *4	エビデンスNo.
技能レベル*1	難易度			
	卓越度		※メンテナンス技術賞については非該当 (記載不要)	
	模範度			
技術レベル*2	革新性		技術賞候補技術(製品・商品)が、既存技術 (商品、システム、論文等) に対してより新しいと言える技術の内容を具体的に記載してください。	左記を説明するエビデンスを必ず添付して下さい
	優位性		技術賞候補技術(製品・商品)が、既存技術 (商品、システム、論文等) に対して新技術が優位と判断する根拠を具体的に記載してください。	左記を説明するエビデンスを必ず添付して下さい
	実現性		技術賞候補技術(製品・商品)が実現する可能性、又は実現しての特許取得等の実績を具体的に記載してください。	左記を説明するエビデンスを必ず添付して下さい
教育・育成*3	指導力			
	難易度		※メンテナンス技術賞については非該当 (記載不要)	
	普及度			
効果・貢献度			当該技術(製品・商品)の採用により、ユーザが得られる利益・メリット(作業合理化・安全品質向上など)を具体的なユーザでの導入事例や効果・貢献事例も含めて具体的に記載ください。	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい
業績・実績			当該技術(製品・商品)により達成した(達成が期待される)収益性(改善、伸長度)、販売(導入)数、実績勲章、褒章、表彰(社内表彰制度)等の実績があれば、具体的な内容とともに記載ください。	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい

*1：メンテナンス技術賞については非該当
*2：メンテナンスマイスター賞については非該当
*3：メンテナンススペシャリスト賞については非該当
*4：評価の内容 (根拠) については評価の着眼点を具体的に記入願います。 (別紙1 参照)
※評価の内容 (根拠) を説明するエビデンスをNo.を記載の上、別途、提出願います。
*5：評価は普通から非常に優れているまで1点から5点までの5段階で記入願います。

5：非常に優れている
4：優れている
3：標準的なレベル
2：やや劣る